

## 「心のコップ」

おはようございます。10月の学校だよりも書きましたが、学校では1年間の折り返し地点を迎えて前期から後期へ、3年生から1・2年生へのバトンタッチが行われています。先週行われた新人体育大会では1・2年生の代となって初めての大きな大会でしたが、どの部活動も素晴らしい結果を残してくれました。ありがとうございました。そんな後輩の活躍を喜んでくれている3年生の優しさにも感謝しています。そして今、校内では合唱コンクールに向けて美しい歌声が響くようになりました。この間、実行委員長の話にもあったようにいろいろな問題を乗り越えた先にある団結を大切にみんなで頑張っていきましょう。

さて10・11月はいじめ防止月間です。2年前に朝霞一中では生徒会が中心となって「いじめ撲滅宣言」を作りました。まもなくオレンジリボン運動もスタートすると聞いています。いじめは決して許さないという気持ちをたくさんの方が持つことにより朝霞一中が正義の通る学校になることを願っています。

そこで今日は「心のコップ」というお話をします。みなさんちょっと頭の中でガラスのコップを一つ思い浮かべてください。そのコップは最初空っぽです。次にそのコップに水差しからゆっくり水を注ぐところを想像してください。だんだん水がコップに満ちてきます。やがていっぱいになりました。もうすぐこぼれるという手前でストップしてください。この状態が人の心だったらどうでしょうか。つらいことや苦し

いことを我慢して我慢して溜めて溜めていて、あと1滴落ちたらコップからあふれ出る状態まで追い込まれている人がいないでしょうか。いまだになくならない、いじめによって自らの命を絶ってしまうケース・・・その人たちに心のコップがあったとしたらきっと一生懸命我慢して溜めて溜めて、ある日溢れてしまったのかもしれない。

みなさんは人の心が見えますか？いくら先生たちがプロの教師だとしても超能力があるわけではないのですべての生徒の心の状態がお見通しというわけではありません。先生たちが話を聞こうとしても「別に」とか「大丈夫です」などと答えて心を開いてくれようとしなないこともあります。そしていつの間にかコップに水が溜まって行って、学校に来られなくなったり、学校や家で爆発したりする人もいます。あるいは生きていても仕方がないなどと考えたり・・・

だからお願いです。もし今悩んで苦しい思いをしている人がいるのなら、一人で悩まないでください。心のコップがあふれる前にどうか相談してください。友達でも先生でも親でも相談室でもだれでもいいから相談してください。

先ほど私は人の心は見ますかとききました。人の心全てが見えるわけではありませんが、気づいてあげることはできます。だからお願いです。あなたの周りに心のコップにいっぱい水をためている人はいませんか。ちょっとした優しさで気づいてあげることができるかもしれません。少しの声掛けで救われる人がいるかもしれません。もし気がついて自分ではどうすることもできないのだったら先生や大人に教えてください。水があふれてしまう前に・・・

終わります。